2021年度関東学生柔道体重別選手権大会　審判会議資料

1．審判規定および注意点

1）最新の国際柔道連盟試合審判規定（2018-2020）を準用する。

2）審判は1審制とし、ケアシステムによるビデオ確認を行う。

3）判定基準は「技あり」以上、または「反則負け」とする。

4）「柔道衣の乱れに対する新たな罰則」について、「攻防に関係の無い行為で、自らの柔道衣を帯から出す行為」に加え、2020 年 4 月 1 日施行の「攻防に関係の無い行為で、意図的に相手の柔道衣を帯から出す行為」も対象となり指導が付与される。なお通常の攻防の中で偶発的に相手の服装を乱すことは対象とならない。

5）新たに適用される罰則「反則負け」について、「故意に相手の足を踏みつけて技を仕掛ける行為及び故意に相手の頭髪を掴んで技を仕掛ける行為」は柔道精神に反する行為として「反則負け」が付与される。但し 1 回目は偶発的に起きうる可能性もあるため、「待て」として、ノースコア・ノーペナルティで試合を継続し、2 回目が起これば故意であると判断して「反則負け」を付与する。

6）立ち姿勢と寝姿勢の判断について、その見極めに十分注意する。

7）場内からの技の継続性について、その見極めに十分注意する。ただし 29 日の大会では安全地帯が十分なスペースを確保できていないため、危険と判断される場合は早めに「待て」を宣告する。また隣接する試合場の選手が自試合場の近くで寝技などで継続している場合、「待て」を宣告し安全の確保に努める。

8）立ち技・寝技のいずれにおいても、場外に自ら出ているか押し出しているか、その見極めに十分注意する。

9）ベアハグによるダブルポイントにおいて、3 回目の「指導」の場合は「反則負け」が優先される。

10）ヘッドディフェンスについて、その見極めに十分注意する。

11）礼法について、学生柔道に相応しい正しい礼法を行わせるよう喚起する。

2．副審および審判委員の役割について

1）一審制で行うため、副審は常に試合状況を副審同士で確認し、タイマー・スコアに間違いがないかを確認する。

2）判断の難しい場合は審判委員に確認する。確認は出来るだけ短時間で行い、試合の流れを変えないようにする。

3）試合は基本的に主審と副審で裁くので、過剰に審判委員に意見を求めず、自信と責任をもって裁くこと。

4）審判委員は試合を止める権限を有し、審判員に対し判断の修正を求めることが出来る。その根拠として映像は必須である。また審判員から意見を求められた場合は、必ず応えなければならない。

5）審判委員はミスを防ぐ最後の砦である。その重大な責任を十分に理解し、試合の展開だけでなく、タイマーやスコアの把握などもしなければならない。

6）小さな判断の相違程度は介入すべきではなく、審判員を尊重しなければならない。た

だし重大なミス、判断が必要な場合は、それを看過することなく介入する。

3.「両者反則負け」の取り扱いについて

1）男女とも 1 回戦～準々決勝前までに発生した場合、以後一連の試合には両者とも出場できない。なお全日本体重別団体出場ポイントについては、そこまでの勝利ポイント及び進出ポイントを付与する。

2）男女とも準々決勝以降に発生した場合、4 分間の本戦内においては、主審は「それまで」を宣告し、ただちに延長戦（ゴールデンスコア）に入る。
また延長戦（ゴールデンスコア）内においては、再延長戦を実施し、その場合に限り、先にポイントをあげた選手の勝ちまたは先に反則を取られた選手の負けとし、勝敗が決するまで行う。（一部 2017 ルールの適用）

3）男女とも代表決定戦または補欠決定戦で発生した場合、前項２）に倣う。

4.「嘔吐による棄権」の取り扱いについて

1）試合者が試合中に「嘔吐」した場合、いかなる場合であっても当該選手の「棄権負け」となる。

2）男女とも準々決勝で「棄権負け」となった者は、以後の「代表決定戦」または「補欠決定戦」に出場することは、原則として出来る。ただし感染症の疑いがある場合や、明らかに体調が悪いことが見て取れる場合は、大会本部はその判断により出場を停止させる権限を持つ。

3）大会本部は、出来るだけ大会会場と隔離された別室にて当該選手の経過観察を行い併せて当該選手所属大学の指導者・主務等から、前日～当日までの健康状態のヒアリングを行う。

4）経過観察中に、少しでも体調の変化（悪化）が見られた場合、大会本部は速やかに医療機関搬送の要請を行い、当該選手の出場を停止する。なお新型コロナウィルス感染の疑いがある場合は、当該選手との接触（チーム全体および対戦者等）した者を確認し、以後の経過観察を行うものとする。

5．その他（大会事務局より）

1）本大会では新型コロナウィルス感染防止対策として、「5 の倍数の試合終了毎」に畳の消毒作業を実施します。また準決勝、決勝及び代表決定戦においても、休憩時間がある場合は消毒作業を行います。各審判員は消毒作業が終わるまで、選手が畳の上に乗らないよう注意願います。

2）今大会の服装は引率を兼ねた指導者も担当しますので、ノージャケット、ノーネクタイの上、「審判服またはそれに準じた服装」として、上衣のみ半袖白シャツを指定させていただきます。

3）大会当日の集合時間は 9：25 を目安に「アリーナ内、本部席後方のひな壇」にご参集下さい。審判会議はその場所で行います。昼食については、11 時半以降に随時「会議室」にてお取りください。（蜜を避けるようお願いします。）
※食中毒防止のため、男子の部開始までにお取りください。

以　上